

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 26 年 12 月 4 日（木）

地区 東大淀小学校区

会場 東大淀町民会館

参加者数 27 人



《質問・意見》

東大淀小学校が避難場所になっているが、地震が昼間に起こった場合、先生は児童対応になるため、学校に避難してきた高齢者等への対応について学校で議論していた。昼間は男手が誰もいない状態で、大勢の高齢者等への対応は自治会、まちづくり協議会、防災隊ですのか、また、避難所の運営対応は誰がするのか、難しい問題であると感じている。また、現在は避難マニュアルがあって無いような状態であるが、マニュアル作りも難しいと感じている。

《回答》【市長】

学校の先生は基本的に生徒の安全を優先することになると思います。市内のアンケートによると、一人での避難が困難で援助を必要とする要援護避難者は、市内に約 3,800 名みえます。このような状況で、どのような避難をするのが良いのか、国の指針も進んできた状況であり、地元の皆さんと協議をしてお話を進めていきたいと考えています。

夜間の場合、昼間の場合、また、お正月等への対応をどうするかなど、その時点ごとに地域によって人の環境が変わってきますので、一概にこれが答えですというのが言いにくい部分があります。訓練を重ねて一つひとつ解消していかざるを得ないというのが今持っている答えです。国から協議に対する支援も出てきていますので、その部分もお示ししながら協議を進めさせていただければと思っています。

《質問・意見》

防災倉庫があるが、5日間くらい生活できる物資が備えてあるのか検証が必要であると思う。今まで3日間と言われてきたが、ちょっと無理だろうということで5日間300人以上が屋上に避難して水が引いた後で生活する場合、それだけ賄う食糧が無いと思うので、考慮していただきたい。

《回答》【市長】

現在地震・津波についていろいろ準備をしていますが、判断基準としては、三重県が発表している津波等の想定に基づいています。県の発表によると伊勢市の災害避難者数は7万人とされています。これは、伊勢市人口の約3分の2にあたり、この食糧を手当てするのは、とてつもない数量になります。備蓄については、地域の自主防災隊等で備えていただく補助金もありますので活用していただければありがたいと思っています。

また、地域の方に薬の予備についてお伝えしていただければと思っています。3.11でも薬のトラブルはいろいろありました。薬事法を超える使い方ができるのかということでトラブルになっていましたので、それぞれの方が必要な薬について少しストックを置いていただくとありがたいと思っています。

《質問・意見》

私は、質問というより観光立国伊勢のリピーターを増やす、人口を増やす、この二つの観点で提案・提言があります。

まず、観光立国伊勢というのは、どうしても伊勢神宮が一番のメインです。私は、いつも他の地区から来た人の立場で考えていますが、自動車で伊勢神宮に入った人たちが悩んでいるのが大渋滞であると思われる。

対策の一つの例として、ディズニーランドがあります。車でディズニーランドに行くと、終わってから出るのにほとんど渋滞することなく郊外に行けるルートができています。遠回りしますがスムーズに出て行くような道路が作られています。結構走りますが、渋滞が無いとスッキリします。気持ち的に長く待たされているという感じがしません。伊勢市では、入ってくる車と出て行く車の交差点がいつも同じであるため、長い待ち時間になってしまい一度に通過できないという状況です。何とかうまく出て行く車と入ってくる車が交差点前後に渋滞を起こさないような道路整備が今後の課題だと思っています。

次に、人口増加ということですが、最近住宅地として賑わってきたのは、伊勢中川の駅前です。中京地区のベッドタウンと化しているのかなと思います。伊勢までベッドタウン化が進むかは疑問の余地がありますが、鳥羽市のように人口を増やすために財政的に支援をしている一例もあります。伊勢市は、ベッドタウン化と言うよりも、土地の安い場所に交通を発達させれば、中京地区に一時間半もあれば電車で行けるので、そういうような取組もこれからは必要ではないかと思っています。

《回答》【市長】

ディズニーランドの渋滞の無い取組は一度経験してみたいと感じました。今後、三重国体開催のために県営競技場が大改修することになっています。これに伴い駐車場の利用が困難になってくることはありますが、県営競技場から中村町に通じる県道を整備して迂回できるよう、県に調査をしていただいています。

伊勢中川のベッドタウン化のお話は、勉強させていただきたいと思います。鳥羽市は、定住促進ということで、様々なサービスを行っていますが、私は二つの考え方があると思っています。できるだけサービスを安くして引っ張ってくる方法と、教育や地域医療等の

サービスを向上させて引っ張ってくる方法です。両方とも大事なことだと感じていますので、いただいたご意見を参考にして進めていきたいと思っています。

《質問・意見》

小中学校の統廃合が進んでおり、この東大淀小学校も対象となっています。今後統廃合が進めば、廃校となる学校が増えてきますが、跡地利用について市の考えはありますか。

《回答》【市長】

これは、すごく大きな問題と考えています。廃校後の建物や土地の活用については、これから協議を始めていきたいと思っています。地域の学校のことであるため、地域の皆さんからのお声もいただければありがたいと思っています。

全国的に小中学校の再編に伴う跡地活用が課題となっています。活用方法を最初にきちんと議論して決めていく必要があると考えていますので、全庁的にチームを作って、地域の皆さんと協議をし、企業さんからの提案も受け入れながら進めていきたいと思っています。必要最低限として、津波避難施設として確保し、その他の活用について皆さんとお話させていただきたい。

《質問・意見》

現在、町の老人会館が老朽化しており、今後どうするか勉強しているところです。個人的には小学校の跡地に老人会館を持っていけたらと思います。活用方法について、町から市への相談をいつ頃すればよいのか、また、市からアウトラインが示されるのか。

《回答》【市長】

来年度に向けて、全庁的にチームを作ってアウトラインを決めていきたいと考えていますので、活用方法のご提案については、時期が決まったらお知らせします。なお、それまでにご質問があれば、随時回答させていただきます。

《質問・意見》

小学校の跡地に保育所と老人会館があれば、いろんなコミュニケーションもとれて、津波の時もすぐに避難することができると思います。町から意見をまとめて出していきたいと思っていますので検討をお願いします。

《回答》【市長】

わかりました。

《質問・意見》

子供たちは、将来の観光大使にならなければいけないと思います。子供のときの食文化

やいろんな体験が、10年、20年後の立派な観光大使に繋がるとは思います、いかがお考えですか。

《回答》【市長】

おっしゃるとおりだと思います。特に食文化については、地域の方々に食育を担っていただいております。また、学校給食では、地域の食材をできるだけ多く使用し、食べてもらっています。教育は、学校と家庭と地域の三つの柱がそれぞれの役割分担をして進めていくことが大事であると思います。

《質問・意見》

まちづくり協議会の事務局長という立場でご要望させていただきたい。町会や自治会の役員に報酬を出していることもあるため、まちづくり協議会の人件費で、事務局長報酬、事務局員報酬以外に、役員報酬を追加させていただきたい。報酬無しに労力だけを提供していただく時代ではないように思います。

《回答》【市長】

お気持ちは十分にわかります。そういったお声をたくさんいただいています。検討させていただきます。

《質問・意見》

この地域では小学校が避難場所になっていますが、液状化が起きて建物が傾き、避難する場所が無くなってしまわないかと心配しています。小学校の地盤がどうなっているのか疑問に思い、質問しました。

《回答》【市長】

液状化の問題は非常に大事です。宮川左岸の沿岸部は、県が発表しているハザードマップで、液状化する可能性があるデータが出ていたと思います。

学校・公共施設の関係については、杭を打っていますので、建物自体が傾くという可能性は低いと思います。

ただ、今のお話を聞いて感じたことは、逃げる経路は少し心配な部分があると感じました。避難経路のところで液状化が発生する可能性はあるかもしれません。千葉の浦安の状況でも液状化が起こってマンホールが1メートルくらい出てきてしまったこともありましたので、そういったところも考えていかなければと感じました。

建物については大丈夫と思いますが、もう一回チェックしてご返答させていただくようにしたいと思います。

＜後日回答＞【担当部局 危機管理部防災施設整備課】

避難場所になっている東大淀小学校については、支持地盤まで杭を打っていることや、耐震補強工事も完了していることから、地震や液状化により建物が崩壊する可能性は低い

と判断しております。しかし、三重県地震被害想定調査によりますと、沿岸部における液化危険度については、「極めて高い」と想定されています。そのため、液化化により避難経路となる道路の亀裂や段差、また、ブロック塀の倒壊等が発生する可能性があると思いますので、徒歩での避難をお願いいたします。

《質問・意見》

お伊勢さんマラソンが主要道路を通行止めにして今年も行われるが、今のコースは今年で終わると聞いている。通行止め等による地域住民からの苦情が教育委員会に多く寄せられていると思うが、今後のコースは、地域住民の通行止めを極力減らせるルートを考慮していただきたい。

《回答》【市長】

わかりました。